

週刊為替レポート (米ドル/円)

2015年8月21日時点

Stat Arb 青木俊郎

当レポートは、上記時点の調査データ(すべてStat Arb社調べ)に基づき作成しています。

1. 先週の動き

先週のレンジ: 121.82 - 124.57

日付	始値	高値	安値	終値	前日比
8月17日(月)	124.28	124.57	124.21	124.39	+0.06%
8月18日(火)	124.39	124.51	124.18	124.41	+0.02%
8月19日(水)	124.41	124.47	123.69	123.80	0.49%
8月20日(木)	123.79	124.16	123.33	123.40	0.32%
8月21日(金)	123.40	123.50	121.82	122.04	1.10%

2. 格付 (参考資料)

格付機関	格付	主な格付け(高/低)
ムーディーズ	Aaa	Aaa/Aa/A/Baa/Ba/B/Caa
S & P	AA+	AAA/AA/A/BBB/BB/B/CCC
フィッチ	AAA	AAA/AA/A/BBB/BB/B/CCC

いずれも「自国通貨建て長期債務格付け」。格付不明時は「-」

3. マーケットコメント

前週末比 **1.83%** (円高ドル安)

17日、ダラス連銀、次期総裁にハーバード大教授のガララン氏を選任。9月8日就任予定。18日、7月住宅着工件数は前月比0.2%増に減速(前月12.3%増)。19日、7月28-29日の金融政策委員会議事録「大半の委員は政策金利を引き上げるだけの経済的条件はまだ達成されていないが、近づきつつあると判断。ほとんどの委員はインフレ率が中期的目標に向かう合理的な確信を得るまでは、経済成長の力強さや雇用のタトさが十分であることを示すさらなる証拠が必要との認識」「賃金上昇の加速やそれがインフレ加速につながるか否かについて、かなりの不確実性がある」「多くの委員は労働市場にさらに幾らかの改善余地があるとの認識」「数名の委員は中国経済の急減速が米国経済に及ぼす影響を懸念」。この発表を受け、マーケットでは9月中の利上げ観測が若干後退。ブラド・セントルイス連銀総裁「利上げ開始後は慎重にバランスシートの管理をすべき」。20日、コチャコタ・ミネアポリス連銀総裁、インフレ目標を引き上げるべきと主張。21日、中国経済の減速懸念などからNYダウが530ドルの急落。2年スワップ金利は前週末約0.97% 0.85%と約12bp低下。主要6通貨と比較したUSD(米ドル)インデックスは前週比1.85%下落。

4. 相場変動要因

(1) 上昇(円安ドル高)

政策金利 (FF金利誘導目標) 0.00% ~ 0.25% 雇用改善と年内利上げ観測
財政健全化に向けた努力 国際的政情不安。"有事のドル買い"

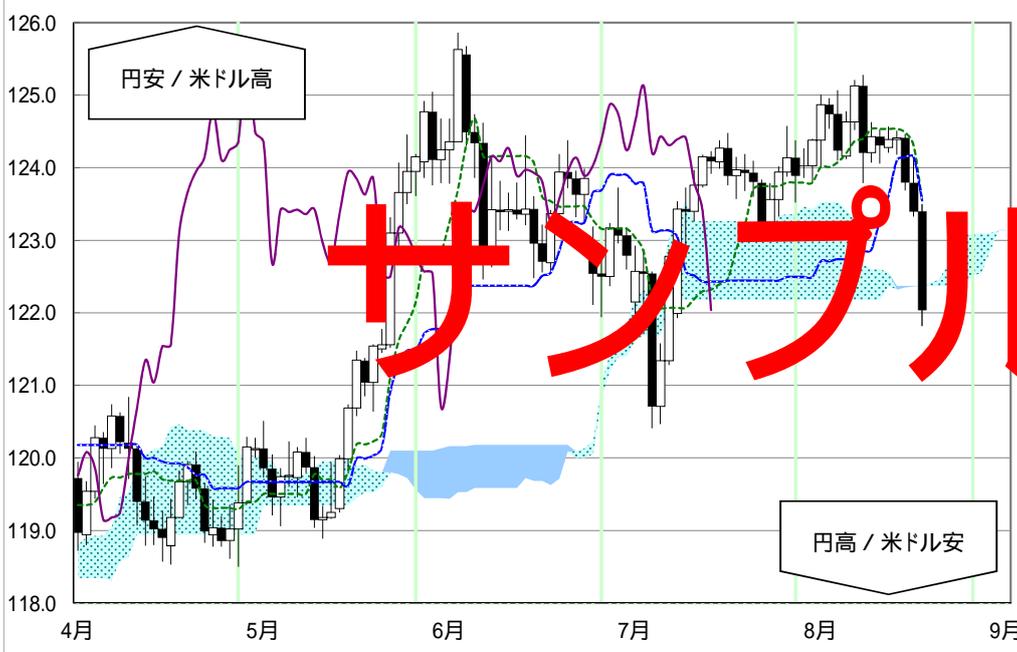
(2) 下落(円高ドル安)

財政赤字、貿易赤字
中東諸国等の米ドルペッグ放棄、ロシア等の外貨準備の米ドル比率引き下げの動き
中国等の米国債購入削減の動き

5. 日足チャート(一目均衡表)

雲上限: 122.38 雲下限: 122.38

転換線: 123.55 基準線: 123.55



6. チャートポイント

125.86	年初来高値
125.86	昨年来高値
125.28	今月高値
124.07	25日移動平均
123.89	前月末
123.55	一目・転換線
123.55	一目・基準線
122.38	一目・雲上限
122.38	一目・雲下限
122.04	今週末
121.82	今月安値
119.78	昨年末
119.58	250日移動平均
115.86	年初来安値
100.76	昨年来安値

7. トレンド

スパン	トレンド
短期	円高ドル安
中期	円高ドル安
長期	円安ドル高

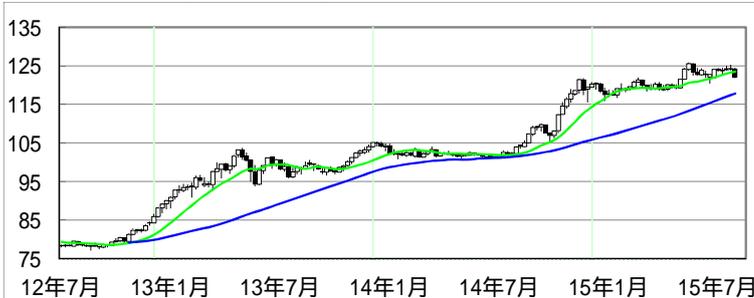
("スパン"の目安) 短期: 数日

中期: 1ヶ月、長期: 数ヶ月程度

(今後変更される可能性があります)

8. 週足チャート(移動平均線)

移動平均線は13週、52週ベース



9. 当面のスケジュール

日付	内容
8月25日	火 (US)7月新築住宅販売
8月25日	火 (US)8月消費者信頼感指数
8月25日	火 (US)議会、財政経済見直し改定
8月26日	水 (US)7月耐久財受注
8月27日	木 (US)第2四半期GDP(改定値)
8月28日	金 (US)7月個人所得
8月28日	金 (US)8月ミシガン信頼感指数(改定値)
8月31日	月 (US)8月シカゴ購買担当者指数
9月2日	水 (US)バー・ジュブック

本誌は情報提供を唯一の目的としており、明示的にも黙示的にも、証券の募集若しくは売出または顧客からの買付の申込みの勧誘、もしくは顧客に対する売付けの申込みを意図するものではありません。記載されている一切のデータ、文言等に関する正確性、確実性は保証いたしません。本誌に記載される評価は過去の一定期間の実績等を分析したものであり、将来の投資成果等を保証するものではありません。投資判断にあたっては、必ず当該証券の発行にあたり作成された目論見書及びその他の入手可能な情報をご参考して下さい。取引に伴うリスク、及びお客様にとって妥当なものか否かに関する判断は、お客様が自己の責任に基づき独自にご判断下さい。また、取引に関する法律上、税務上、会計上の取扱いについては、お客様の責任において、それぞれの分野の専門家にご相談下さい。本資料及びその内容を無断でコピー、引用等する行為は禁止します。

手数料等について

金融商品にご投資いただく際には、各商品に以下の所定の手数料等をご負担いただく場合があります。

国内株式取引の場合	約定代金に対して上限1.242%（税込）（ただし、最低手数料2,700円（税込））の委託手数料が必要となります。
投資信託の場合	銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等がかかりますが、商品ごとに異なるため、ここでは表示することができません。
債券の場合	募集、売出し又は相対取引により購入する場合は、購入対価のみお支払いいただきます。
信用取引を行う場合	売買代金の30%以上で、かつ500万円以上の委託保証金が事前に必要です。

※外貨建て商品の場合、円貨と外貨を交換する際の為替レートは、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものといたします。

リスク等について

金融商品には株式相場、金利水準の変動等による「市場リスク」、金融商品の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の「信用リスク」、外国証券である場合には、「為替変動リスク」等により損失が生じるおそれがあります。さらに、新株予約権等が付された金融商品については、これらの「権利を行使できる期間の制限」等があります。

なお、信用取引又はデリバティブ取引を行う場合には、その損失の額がお客様より差入れていただいた委託保証金又は証拠金の額を上回るおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

各金融商品等ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、金融商品等の取引に際しては、当該商品等の契約締結前交付書面等、上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

当社の概要

商号等：東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

無登録格付に関する説明書

東海東京証券株式会社

格付会社に対しては、市場の公正性・透明性の確保の観点から、金融商品取引法に基づく信用格付業者の登録制が導入されております。

これに伴い、金融商品取引業者等は、無登録格付業者が付与した格付を利用して勧誘を行う場合には、金融商品取引法により、無登録格付である旨及び登録の意義等をお客様に告げなければならないこととされております。

登録の意義について

登録を受けた信用格付業者は、誠実義務、利益相反防止・格付プロセスの公正性確保等の業務管理体制の整備義務、格付対象の証券を保有している場合の格付付与の禁止、格付方針等の作成及び公表・説明書類の公衆縦覧等の情報開示義務等の規制を受けるとともに、報告徴求・立入検査、業務改善命令等の金融庁の監督を受けることとなりますが、無登録格付業者は、これらの規制・監督を受けておりません。

	スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス	ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク	フィッチ・レーティングス
格付会社グループの呼称等について	・格付会社グループの呼称：スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第5号）	・格付会社グループの呼称：ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：ムーディーズ・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第2号）	・格付会社グループの呼称：フィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」と称します。） ・グループ内の信用格付業者の名称及び登録番号：フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社（金融庁長官（格付）第7号）
信用格付を付与するために用いる方針及び方法の概要に関する情報の入手方法について	スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社のホームページ（ http://www.standardandpoors.co.jp ）の「ライブラリ・規制関連」の「無登録格付け情報」（ http://www.standardandpoors.co.jp/unregistered ）に掲載されております。	ムーディーズ・ジャパン株式会社のホームページ（ムーディーズ日本語ホームページ（ http://www.moody.co.jp ）の「信用格付事業」をクリックした後に表示されるページ）にある「無登録業者の格付の利用」欄の「無登録格付説明関連」に掲載されております。	フィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページ（ http://www.fitchratings.co.jp ）の「規制関連」セクションにある「格付方針等の概要」に掲載されております。
信用格付の前提、意義及び限界について	スタンダード&プアーズ・レーティングズ・サービス（以下「レーティングズ・サービス」）の信用格付は、発行体または特定の債権の将来の信用力に関する現時点での意見であり、発行体または特定の債務が債務不履行に陥る確率を示した指標ではなく、信用力を保証するものではありません。また、信用格付は、証券の購入、売却または保有を推奨するものではなく、債務の市場流動性や流通市場での価格を示すものでもありません。 信用格付は、業績や外部環境の変化、裏付け資産のパフォーマンスやカウンターパーティの信用力変化など、さまざまな要因により変動する可能性があります。 レーティングズ・サービスは、信頼しうると判断した情報源から提供された情報を利用して格付分析を行っており、格付意見に達することができるだけの十分な品質および量の情報が備わっていると考えられる場合にのみ信用格付を付与します。しかしながら、レーティングズ・サービスは、発行体やその他の第三者から提供された情報について、監査・デューデリジェンスまたは独自の検証を行っておらず、また、格付付与に利用した情報や、かかる情報の利用により得られた結果の正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。さらに、信用格付によっては、利用可能なヒストリカルデータが限定的であることに起因する潜在的なリスクが存在する場合もあることに留意する必要があります。	ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク（以下、「ムーディーズ」という。）の信用格付は、事業体、与信契約、債券及び債務類似証券の将来の相対的信用リスクについての現時点での意見です。ムーディーズは、信用リスクが事業体が市場上・財務上の義務を期日に履行できないリスク及びデフォルト事由が発生した場合に見込まれるあらゆる種類の財産的損失と定義しています。信用格付は、流動性リスク、市場リスク、価格変動性及びその他のリスクについて言及するものではありません。また、信用格付は、投資又は財務に関する助言を構成するものではなく、特定の証券の購入、売却、又は保有を推奨するものではありません。ムーディーズは、いかなる形式又は方法によっても、これらの格付若しくはその他の意見又は情報の正確性、適時性、完全性、商品性及び特定の目的への適合性について、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証も行っておりません。 ムーディーズは、信用格付に関する信用評価を、発行体から取得した情報、公表情報を基礎として行っております。ムーディーズは、これらの情報が十分な品質を有し、またその情報源がムーディーズにとって信頼できると考えられるものであることを確保するため、全ての必要な措置を講じています。しかし、ムーディーズは監査を行う者ではなく、格付の過程で受領した情報の正確性及び有効性について常に独自の検証を行うことはできません。	フィッチの格付は、所定の格付基準・手法に基づく意見です。格付はそれ自体が事実を表すものではなく、正確又は不正確であると表現し得ません。信用格付は、信用リスク以外のリスクを直接の対象とはせず、格付対象証券の市場価格の妥当性又は市場流動性について意見を述べるものではありません。格付はリスクの相対的評価であるため、同一カテゴリーの格付が付与されたとしても、リスクの微妙な差異は必ずしも十分に反映されない場合もあります。信用格付はデフォルトする蓋然性の相対的序列に関する意見であり、特定のデフォルト確率を予測する指標ではありません。 フィッチは、格付の付与・維持において、発行体等信頼に足ると判断する情報源から入手する事実情報に依拠しており、所定の格付方法に則り、かかる情報に関する調査及び当該証券について又は当該法域において利用できる場合は独立した情報源による検証を、合理的な範囲で行いますが、格付に関して依拠する全情報又はその使用結果に対する正確性、完全性、適時性が保証されるものではありません。ある情報が虚偽又は不当表示を含むことが判明した場合、当該情報に関連した格付は適切でない場合があります。また、格付は、現時点の事実の検証にもかかわらず、格付付与又は据置時に予想されない将来の事象や状況に影響されることがあります。 信用格付の前提、意義及び限界の詳細にわたる説明については、フィッチの日本語ウェブサイト上の「格付及びその他の形態の意見に関する定義」をご参照ください。

この情報は、平成26年2月7日に信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を当社が保証するものではありません。詳しくは上記スタンダード&プアーズ・レーティング・ジャパン株式会社、ムーディーズ・ジャパン株式会社又はフィッチ・レーティングス・ジャパン株式会社のホームページをご覧ください。